Creative Enzymes®

タイプ▌タンパク質アルギニンメチルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-1927

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	この真核生物の酵素は、アルギニン残基の末端グアニジン窒素原子の一つの連続的なジメチル化を触媒し、非□称ジメチルアルギニン残基の形成をもたらします。いくつかの形態（例：PRMT1）は非常に広い基質特異性を持っていますが、他の形態（例：PRMT4およびPRMT6）はかなり特異的です。この酵素は、1つ以上のグリシン残基に挟まれたアルギニン残基のメチル化を好みます。PRMT1は、哺乳類細胞における総タンパク質アルギニンメチル化活性の大部分（約85%）を担っています。参照：EC 2.1.1.320、タイプIIタンパク質アルギニンメチルトランスフェラーゼ、EC 2.1.1.321、タイプIIIタンパク質アルギニンメチルトランスフェラーゼ、EC 2.1.1.322、タイプIVタンパク質アルギニンメチルトランスフェラーゼ。
別名	PRMT1（遺伝子名）；PRMT2（遺伝子名）；PRMT3（遺伝子名）；PRMT4（遺伝子名）；PRMT6（遺伝子名）；PRMT8（遺伝子名）；RMT1（遺伝子名）；CARM1（遺伝子名）

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.1.1.319
反□	2 S-アデノシル-L-メチオニン + [protein]-L-アルギニン = 2 S-アデノシル-L-ホモシステイン + [protein]-Nω,Nω-ジメチル-L-アルギニン (全体反□); (1a) S-アデノシル-L-メチオニン + [protein]-L-アルギニン = S-アデノシル-L-ホモシステイン + [protein]-Nω-メチル-L-アルギニン; (1b) S-アデノシル-L-メチオニン + [protein]-Nω-メチル-L-アルギニン = S-アデノシル-L-ホモシステイン + [protein]-Nω,Nω-ジメチル-L-アルギニン
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。